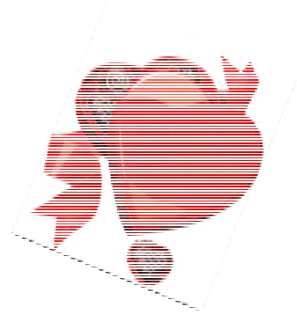




体外受精 & ステップアップセミナーのご案内

体外受精ってどんな治療なの？ 費用がかかりそう…。仕事しながらの体外受精は無理でしょ…。イメージだけで思いとどまっていますか？ 積極的に体外受精を考えているだけでなく、治療の今後の見通しを立てておきたい方、結果がなかなか出なくて困っている方などなど、お気軽に受講してみてください。
また、35歳以上の方は、なるべく早めに情報を得ておくのも大事なことです。お考え下さいね。

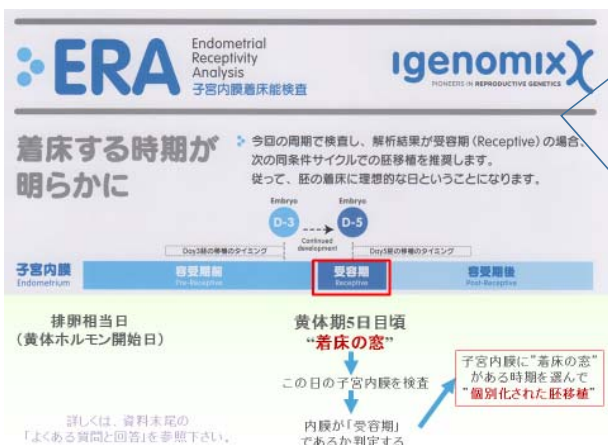




2月10日(土) 15:00～
扇町ARTレディースクリニック 5階メインフロアにて開催
受講料無料

ご予約は下記よりお願い致します
<http://www.olc.ne.jp/contact/>

または 06-6311-2511(クリニック代表)



ERA Endometrial Receptivity Analysis
子宮内膜着床能検査

着床する時期が明らかに

今回の周期で検査し、解析結果が受容期 (Receptive) の場合、次の同条件サイクルでの胚移植を推奨します。従って、胚の着床に理想的な日ということになります。

Embryo D-3 → Customized Endometrial → Embryo D+5

子宮内膜 (Endometrium) 受容期前 (Pre-Receptive) 受容期 (Receptive) 受容期後 (Post-Receptive)

排卵相当日 (黄体ホルモン開始日)

黄体期5日目頃 “着床の窓”

この日の子宮内膜を検査

内臓が「受容期」であるか判定する

子宮内膜に“着床の窓”がある時期を選んで “個別化された胚移植”

詳しくは、資料末尾の「よくある質問と回答」を参照下さい。

新しくERA検査(子宮内膜着床能検査)が始まります！
子宮の内臓には着床窓という、受精卵が着床しやすい時期があります。一般的には排卵日から5-7日目に、着床窓が開いていると考えられていますが、この着床窓が開いている時期が個人によって異なる可能性があるということが最近の研究で分かってきました。
その着床窓が開いている時期を特定することができるのがERA検査です。ARTセミナーでは、ERA検査についても説明させていただきます。

体外受精をお考えの方は、

- 通院の頻度は？
- お薬はどれくらい使う？
- 費用はどれくらいかかる？

など、たくさんの気がかりがとおありかと思ひます。
ARTセミナーでは看護師や受付事務員が詳しくご説明させていただきます！

